

生物多様性戦略の目標等（国・県・市）

1 生物多様性国家戦略2023-2030

2050年ビジョン	2030年に向けた目標	基本戦略
自然と共生する社会	ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現	1 生態系の健全性の回復
		2 自然を活用した社会課題の解決
		3 ネイチャーポジティブ経済の実現
		4 生活・消費活動における生物多様性価値の認識と行動
		5 生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の推進

2 生物多様性ひょうご戦略

理念	めざす姿	基本戦略	行動目標	
生物多様性が育む「恵み豊かなふるさとひょうご」を私たちの手で未来へつなぐ	✓生物多様性保全に対する県民の理解が深まるとともに、意識が高まり、ネイチャーポジティブ（自然再興）が実現している。 ✓野生動物の適正な保護管理が行われ、人と野生動物が共存している。 ✓さまざまな担い手により、里地里山、里海が適切に管理され、豊かな自然と風景（ランドスケープ）が保全されている。 ✓人と自然とのふれあいの場が充実し、身近に豊かな自然や文化を感じることができる。	Ⅰ 豊かな自然環境の適切な保全	1 30by30の推進	地域に根ざした生態系の保全活動の推進 希少野生動植物の生息・生育環境の保全
			2 侵略的外来種の防除	特定外来生物の早期発見・早期防除 侵略的外来種に対する適切な対応
			3 野生鳥獣の適正な保護管理	野生鳥獣の被害防止総合対策の推進 人と野生動物との共存の推進
		Ⅱ 自然の恵みを活かした地域づくり	1 里山・里海の再生	里山の再生 里海の再生
			2 生態系を活かした防災・減災	災害に強い森づくり 人と自然が共生するため池・川づくり 都市緑化の推進
			3 持続可能な農林水産業の推進	環境創造型農業の推進 資源循環型林業の構築 持続的な水産業の実現
		Ⅲ 豊かな自然を未来へつなぐ仕組みづくり	1 生物多様性の理解促進	生物多様性への配慮行動の促進 身近な自然とふれあう機会の充実 地域における学びの機会の提供
			2 生物多様性を支える人材育成の推進	学校における環境学習・教育の推進 環境創造を担うユース世代の育成 環境リーダー・専門分野の担い手育成
			3 多様な主体が支える基盤の充実	開発行為における生物多様性への配慮 市町や企業などにおける生物多様性の取組促進 知見・技術の集積及び情報発信

3 生物多様性たからづか戦略

基本理念	理念	目標	行動方針	基本施策	具体施策
生物多様性を保全・育成・再生し、その恵みを次の世代へ引き継ぐまち「たからづか」	【共生】 すべての命が共生・共存	①ふるさとの生物多様性を保全するまち	郷土の生物多様性を保全・再生する	1. 生態系の保全・再生	(1) 重要地域の保全
					(2) 森林の保全
					(3) 田園地域・里地里山保全
					(4) 南部ため池の保全
					(5) 公共事業における自然環境の保全
				2. まちの中に自然を再生	(1) 自然再生の推進 (2) 市街地の生態系再生・保全
	【循環】 恵みが巡る命の循環	②自然の恵みを持続的に利用しているまち	生物多様性の恩恵を持続的に利用する	3. 生態系ネットワークの形成促進	(1) みどりと水のネットワーク化 (2) 河川や道路などの整備における連続性の確保
				4. 野生生物の保護管理	(1) 野生生物に関する基盤情報整備 (2) 野生鳥獣の保護・管理 (3) 外来生物への対策
					(1) 意識改革の推進 (2) 有機・減農薬栽培と地産地消の推進 (3) 生態系に配慮した産業の推進
				5. 生物多様性の恩恵利用	(1) 意識改革の推進 (2) 有機・減農薬栽培と地産地消の推進 (3) 生態系に配慮した産業の推進
				6. 生物多様性の普及啓発	(1) 生物多様性への関心向上 (2) 自然との触れ合いの場創出
				7. 生物多様性の教育推進	(1) 環境学習の推進 (2) 学習効果の発表機会創出
	【参加】 命を育てる地域参画	③自然の恩恵を大事にするまち	生物多様性を学び・守り育てる社会づくり	8. 生物多様性を育む体制づくり	(1) 拠点施設の設置 (2) 担い手の育成 (3) 活動団体の支援 (4) 各組織間の連携